

3 安定した水道水の供給に対する取組み

安定した水道水の供給に対する取組みについてお聞きします

問4 水道局では、災害などの非常時においても安定して水道水を供給するために施設を新しくしたり、改良するなどの取組みを進めています。

そこで、下記【取組み例】を参考のうえ、9ページのア～ウの取組みについて、あなたが思う「満足度」を、それぞれ選んでください。(○は1つだけ)

☞【取組み例】 ～新潟市水道事業中長期経営計画より～

目標：いつでもどこでも必要水量を供給						
事故・災害対策の充実	水道施設の耐震化	<p>浄水場や配水場等の耐震化を計画的に推進するとともに、配水管の整備や更新時に、地震に強い管を採用していきます。</p> <p>※耐震適合性を有する配水管等の率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>54.8%</td> <td>56.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成22年度は約56億円をかけ、約7.3kmの配水管等の耐震化を行いました。</p>	平成21年度	平成22年度	54.8%	56.4%
	平成21年度	平成22年度				
	54.8%	56.4%				
	配水管のブロック化の推進	地震等による断水被害を極力限定・縮小化するために、配水管の管理区域の細分化（ブロック化）を推進するとともに、ブロック間の水道水の相互融通が可能となる整備を進めます。				
応急給水体制等の整備	災害が発生した場合に、迅速かつ確実な応急給水や災害復旧が可能となるよう、施設・器具及び備品を整備します。					
防犯対策の充実	水道施設への侵入防止対策を推進します。					
施設の適切な維持管理	浄水場等施設の維持管理	施設・設備の機能や老朽度を的確に把握し、効率的で適切な維持管理を行います。				
	配水管の維持管理	配水管等の情報管理システムを最大限活用し、適切な維持管理を行います。				
長期計画に基づく適切な施設改良・更新	浄水場等施設の老朽化対策	的確に老朽度を判定し、費用対効果を考慮しながら、計画的に施設の更新・改良を進めます。				
	計画的な配水管の整備	経年劣化に伴う漏水事故を未然に防止するため、配水管の更新を進めるとともに、今後の都市計画区域などの動向を踏まえ、計画的な配水管の整備を行います。				

(○は1つだけ)

	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
ア. 浄水場などの水道施設の耐震化や地震に強い配水管の採用など、地震が起こったときにも必要な水を供給するための取組み	5	4	3	2	1
イ. 水道管の一部が事故や災害などで破損した場合に、速やかに復旧して水を供給するための配水管の整備	5	4	3	2	1
ウ. 古くなった水道施設を計画的に新しくするなど、将来にわたって安定して水を供給するための取組み	5	4	3	2	1

問5 災害などの非常時に対する取組みの中で、優先的に実施した方がよいと思う取組みはどれですか。次の中から3つ選び、○をつけてください。

- 1 浄水場などの水道施設の耐震化
- 2 地震に強い配水管への入替えによる耐震化
- 3 病院などの重要施設向け配水管の耐震化
- 4 災害時に一定量の飲料水等を確保する緊急貯水槽などの応急給水設備の整備
- 5 給水車・仮設給水栓・キャンパス水槽などの応急給水用具の整備
- 6 ペットボトル水などの備蓄

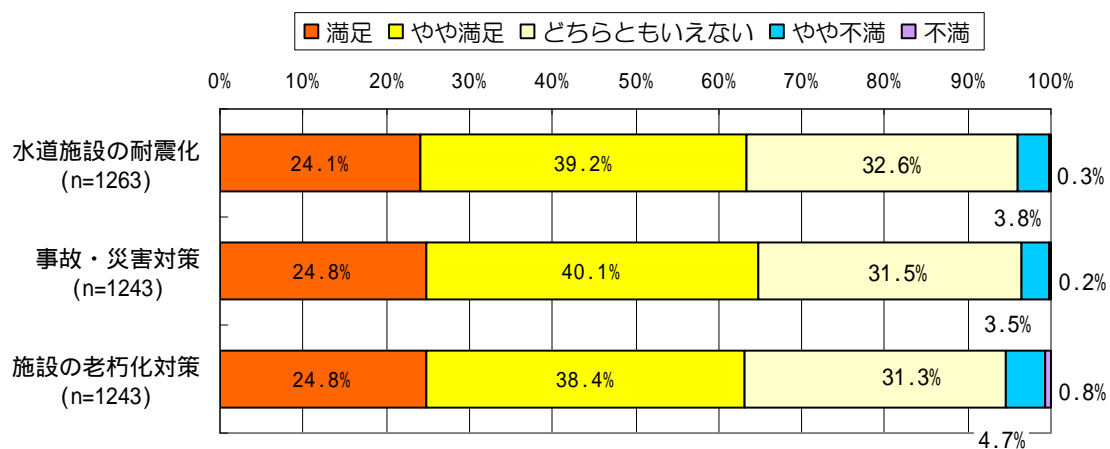


問6 問4～5でお聞きした「安定した水道水の供給に対する取組み」を総合的にみて、どのように思いますか。(○は1つだけ)

- 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満

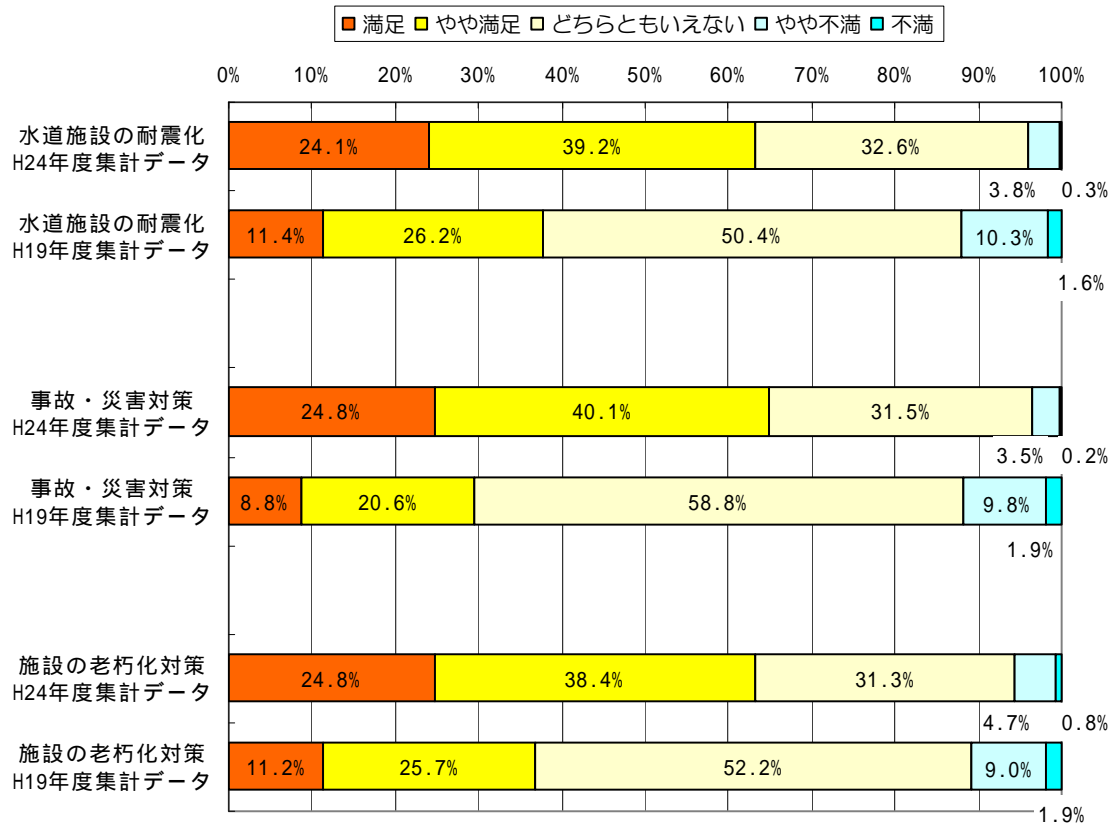
※「4 やや不満」または「5 不満」と回答された方で、理由などございましたらご記入ください。

(4) 安定した水道水の供給への満足度



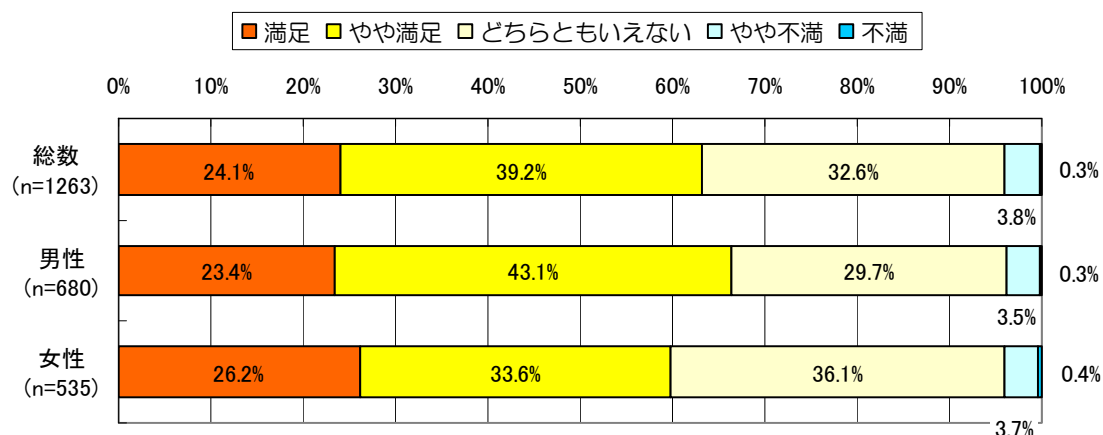
「安定した水の供給」に対する満足度をみると、『満足』『やや満足』を合わせた数値は、「水道施設の耐震化」が63.3%、「事故・災害対策」が64.9%、「施設の老朽化対策」が63.2%となっている。

(安定した水道水の供給への満足度の経年比較)

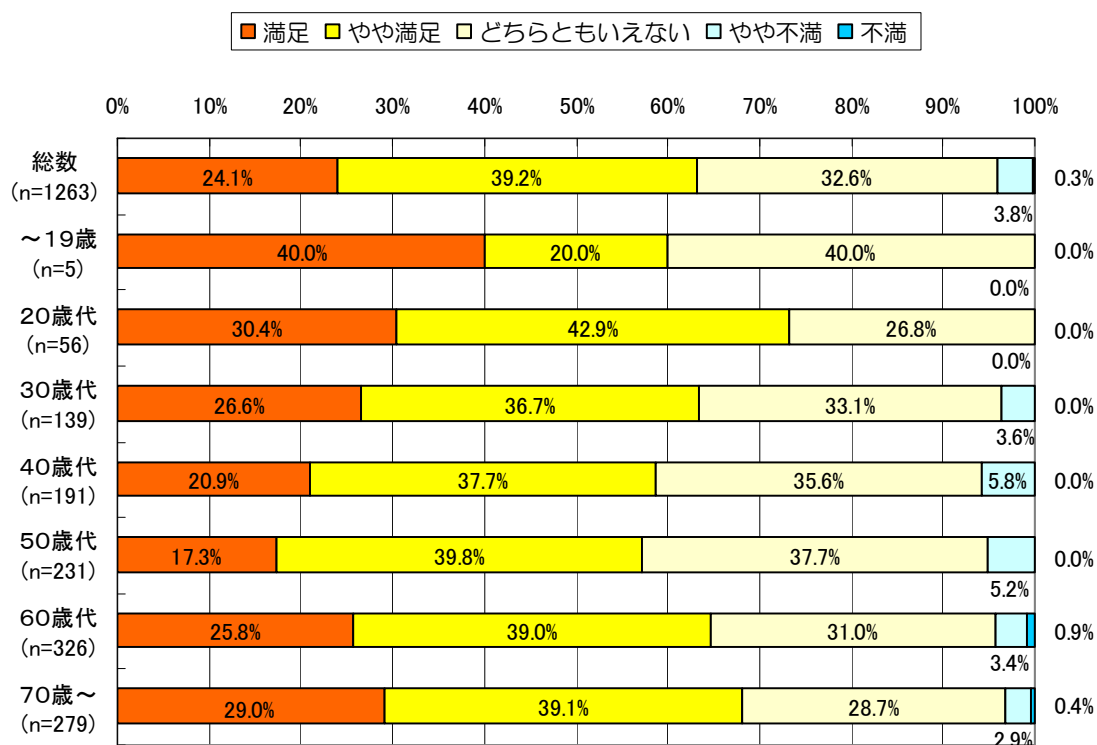


安定した水の供給への「満足度」を調査したものをH19年に調査したデータと比較した。全ての項目で『満足』『やや満足』の割合が60%を超え、大幅に増加している。

①水道施設の耐震化に対する満足度

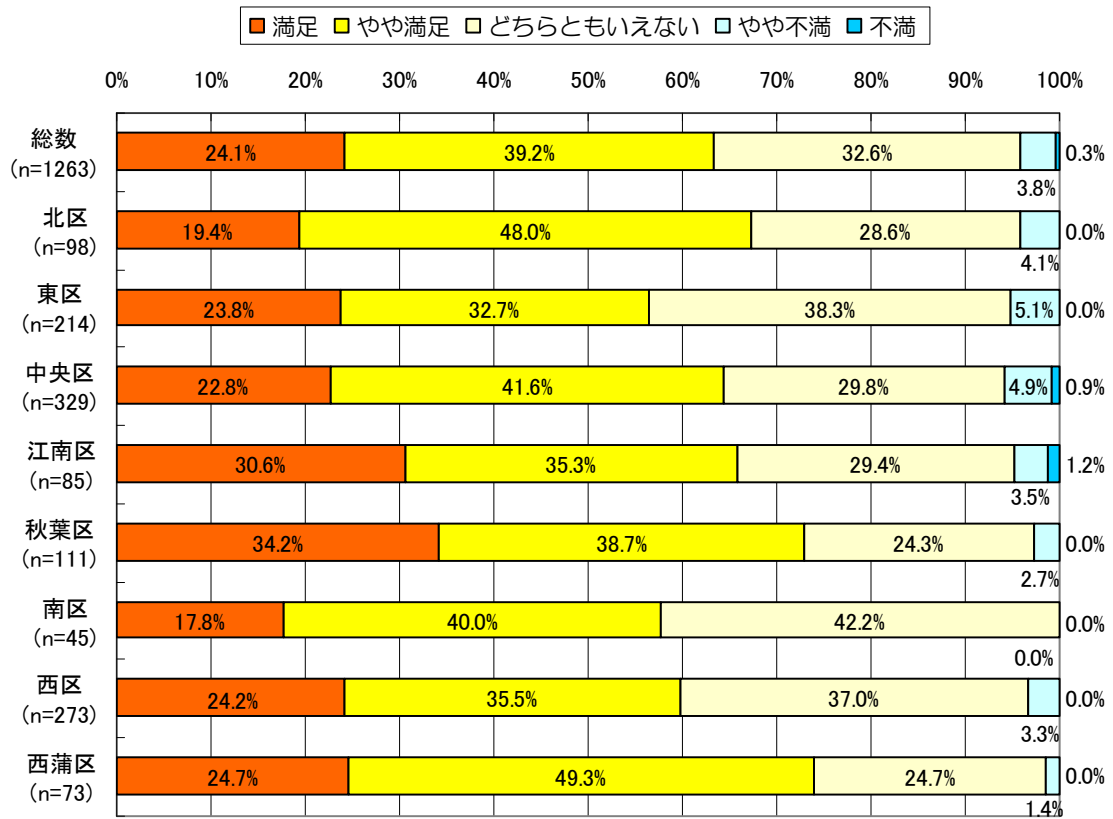


性別では、『満足』『やや満足』と答えた人の割合が、男性が66.5%、女性が59.8%で、男性のほうが6.7%高くなっている。



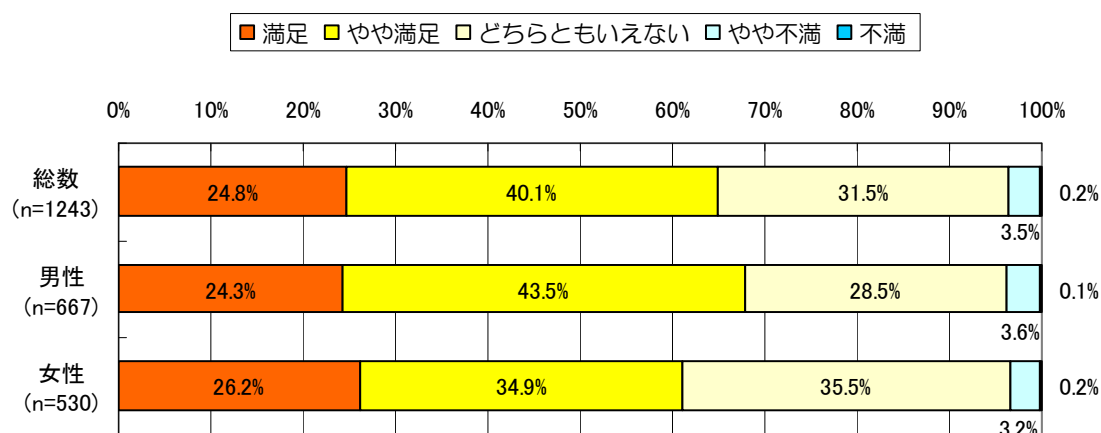
年齢別では、『満足』『やや満足』と答えた人の割合が、50歳代が最も低く57.1%、次いで40歳代が58.6%、19歳以下が60%となっている。

『満足』『やや満足』と答えた人の割合が最も高いのが20歳代で73.3%となっている。

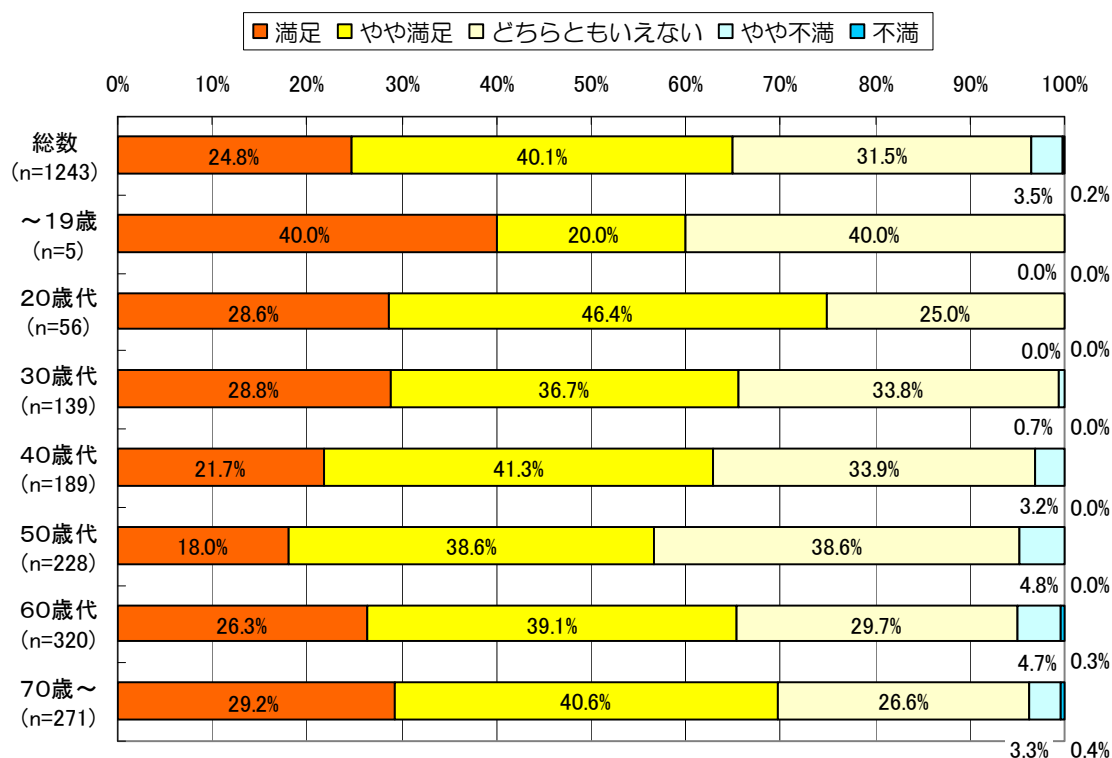


居住区別にみると、西蒲区の満足度が最も高く74%で、以下秋葉区の72.9%、北区67.4%江南区の65.9%、中央区の64.4%とつづく。

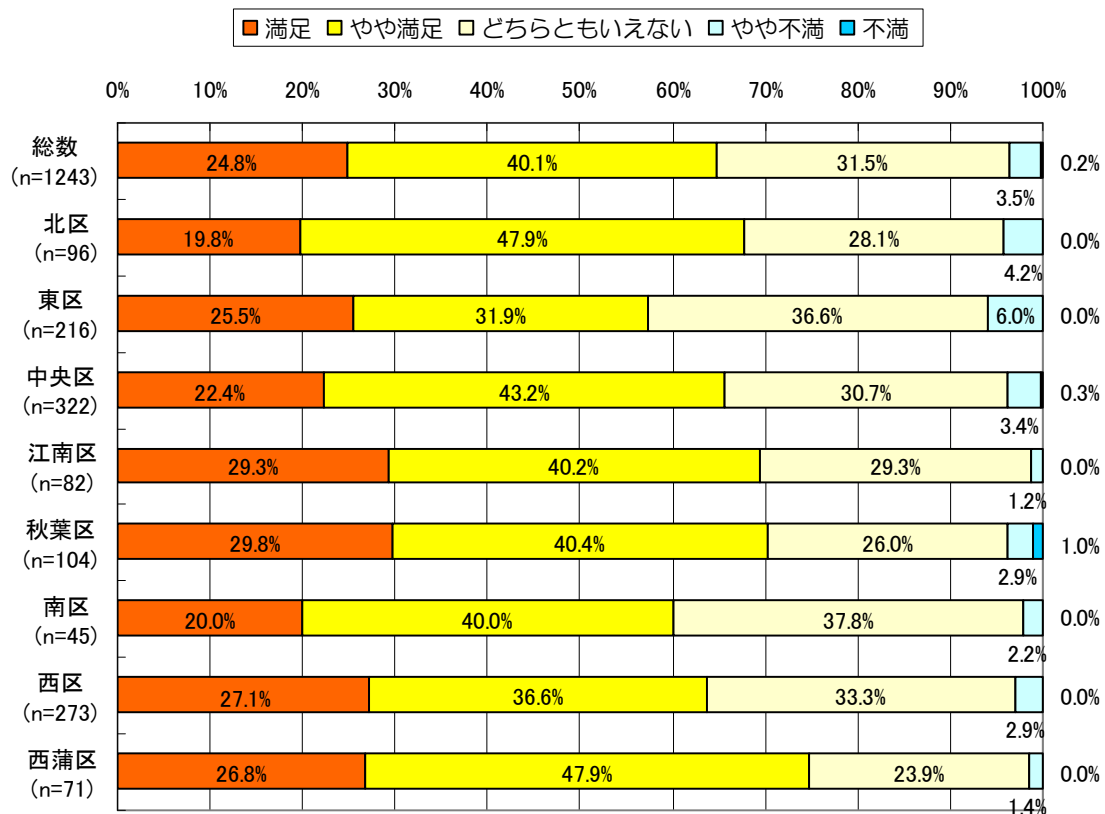
②事故・災害対策に対する満足度



性別では、男性の『満足』『やや満足』と答えた割合が67.8%、女性の『満足』『やや満足』と答えた割合が61.1%となっており、男性の満足度のほうが高くなっている。

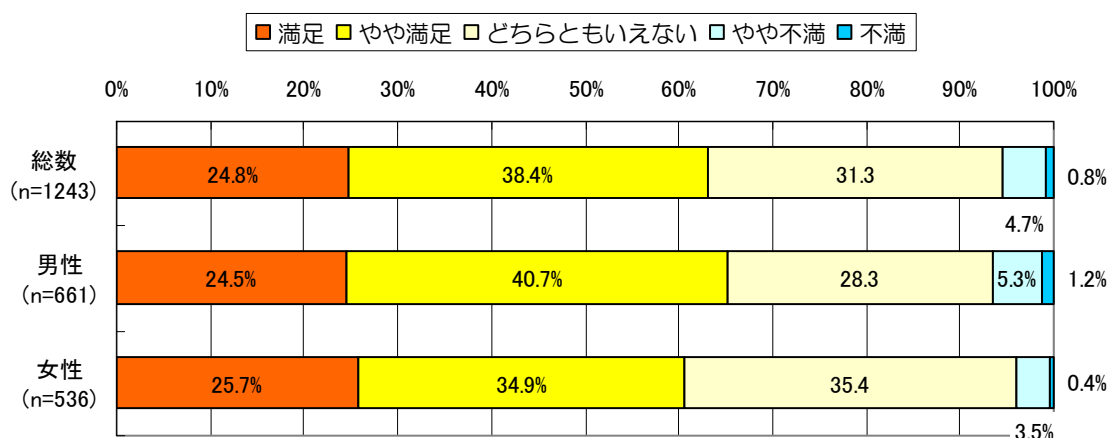


年代別では、『満足』『やや満足』と答えた人の割合は、50歳代が56.6%と最も低く、20歳代が75%と最も高い割合となっている。

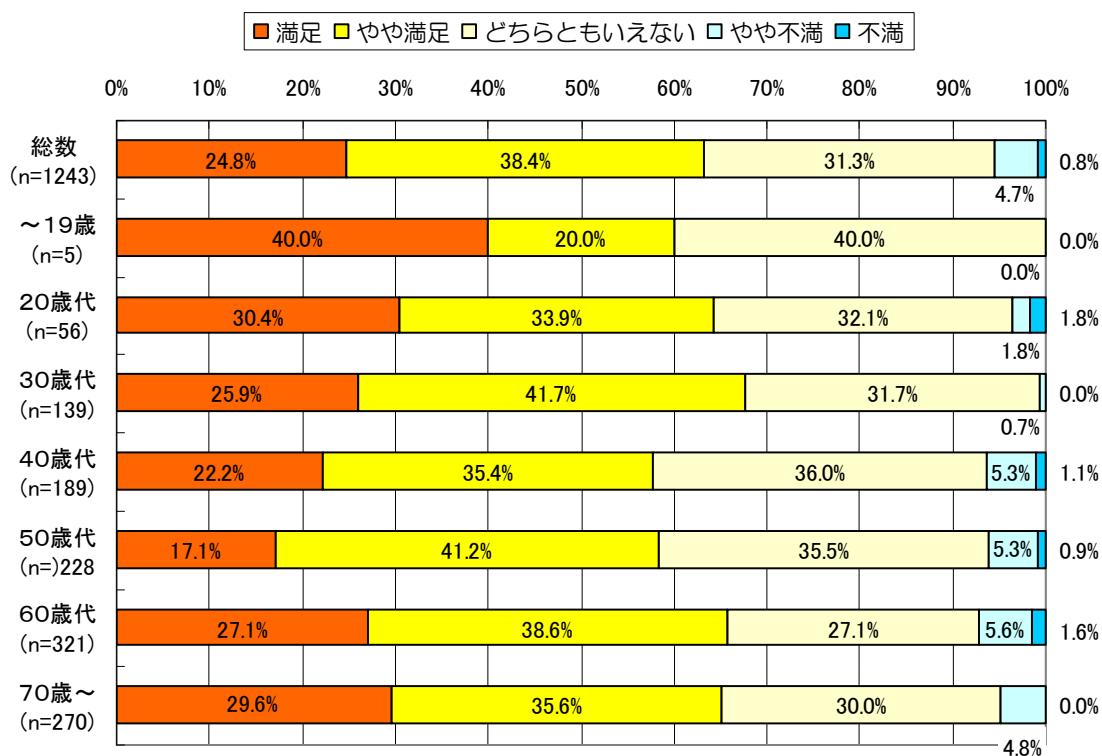


居住区別では、『満足』『やや満足』と答えた人の割合は西蒲区で最も高く74.7%、以下秋葉区の70.2%、江南区の69.5%、北区の67.7%とつづく。

③施設の老朽化対策に対する満足度

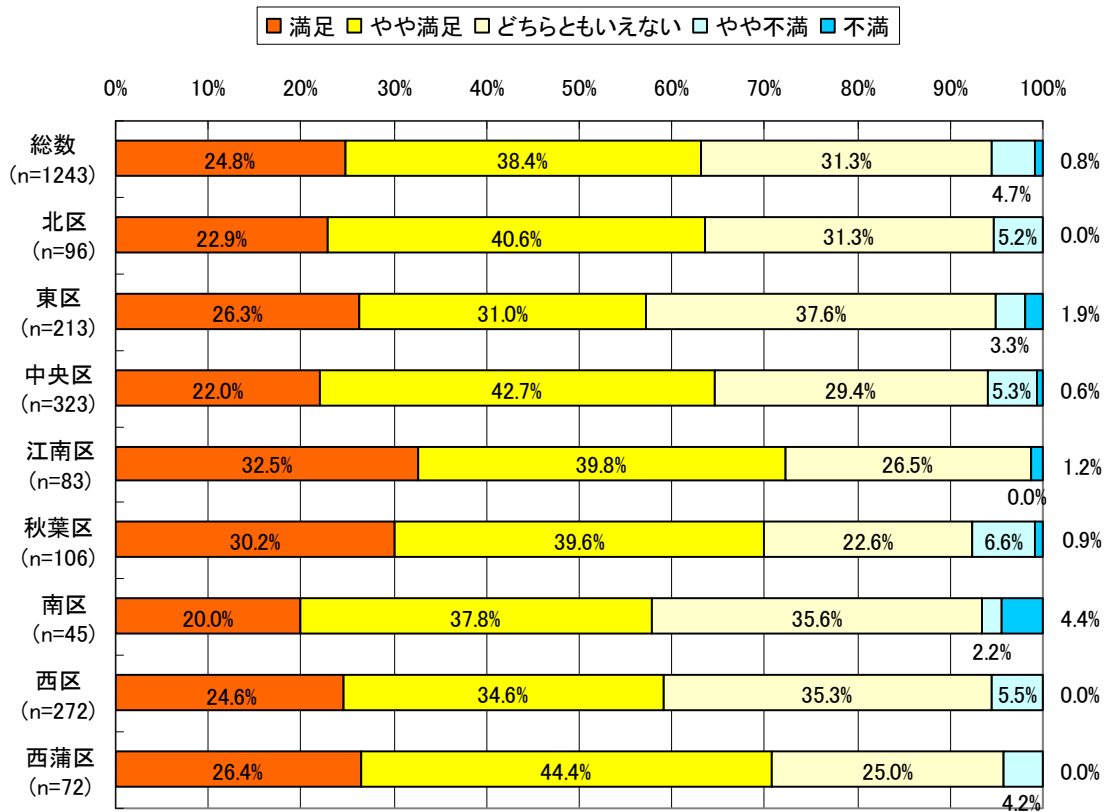


『満足』『やや満足』と答えた人の割合は、男性が65.2%、女性が60.6%で、男性が4.6%高くなっている。



年代別では、『満足』『やや満足』は一番高い数値は30歳代で67.6%、60歳代で65.7%、70歳代で65.2%と続く。

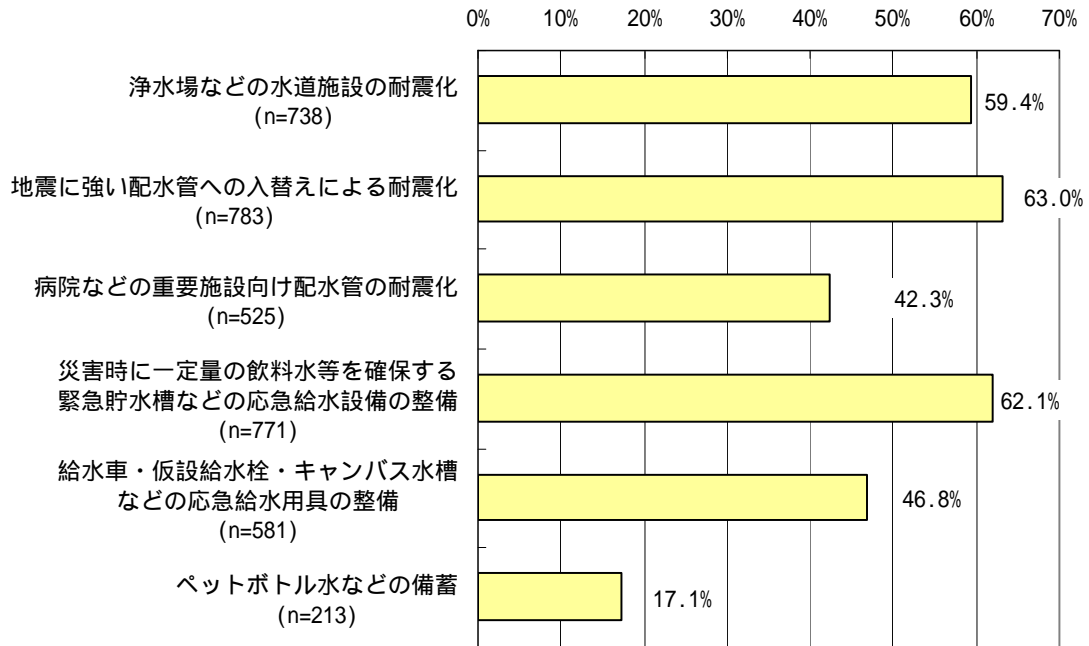
30歳代では『不満』『やや不満』も少なく、0.7%となっている。



居住区別にみると、『満足』『やや満足』と答えた人の割合は、江南区で最も多く72.3%、ついで西蒲区の70.8%、秋葉区の69.8%、中央区の64.7%とつづく。

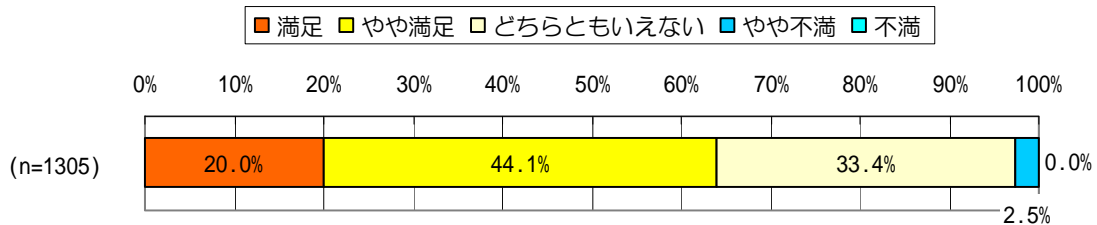
(5) 災害時の取組みへの優先度

災害などの非常時に対する取組みの中で、優先的に実施した方がよいと思う取組み（3つ）



震災の影響からか耐震化に対しては全て40%以上の値となったが、一方で「ペットボトル水などの備蓄」は17.1%と設問の中では低い値となった。これは各家庭での取組みとして考えられているからと思われる。

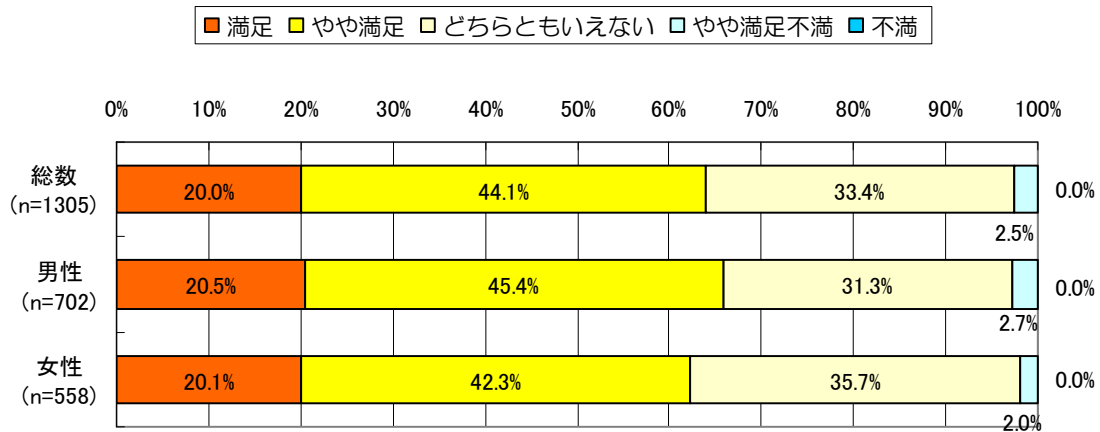
(6) 問4～5の総合的な満足度



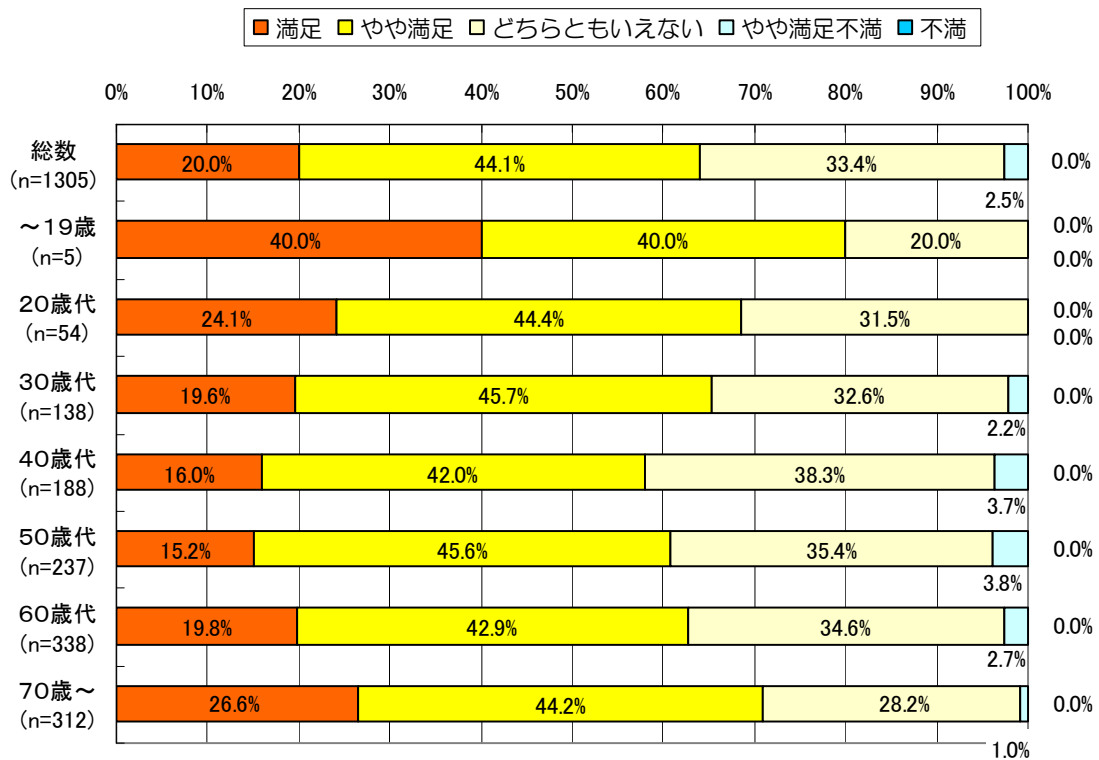
総合的な満足度は、『満足』『やや満足』合わせて64.1%となっている。

「安定した水道水の供給に対する取組み」を総合的にみて、どのように思いますか。 ※「やや不満」または「不満」と回答された方で、理由などございましたらご記入ください。
取組みだけでなく、実質的にやってほしい
災害になってみないとわからないし、区ごとの対応もあるし配水管がどうなっているかもわからないから
災害はいつ起こるかわかりません。明日にでも発生しうるので。左ページ耐震適合性を有する配水管等の率も半数位と知り、不安を感じます。設備の強化だけでなく、備蓄水や、給水車を適正に準備しておいていただき、市民にオープンにしていきたいです。
問5で優先順位はつけられません。全部必要だと思います。
情報量が少なく（具体的な）決定的な判断が出来ない
汚毒水が、どの地点・場所で判定されるのか。家庭に届く前は勿論だが。
結果の報告をお願いします。
災害をまだ自身にて体験しておらず飲料水等の確保が非常に心配です
水道水の水量が少なすぎる
耐震化のスピードが遅い。
マンションの3Fで生活していますが水は、普段大変おいしく頂いております。ありがとうございます。
耐震化はもう少し進んでいるのかと思いました。
災害時の対応がおそい感じ
PR不足と井戸などの整備をやって欲しい
中、長期的な取組みがみられるから。
水道施設の耐震化について、耐震適合性の配水管率のアップを急いで欲しい。
地震に強い配水管の整備進捗が少し遅いのではないかと！予算の関係もあると思いますが、早くやって頂きたいと思う。

配水管の古い個所が多いように見受けられる。
実際に取り組んでいると思われませんが、その実体を見たこともないため判りません。
具体的に見えてこないのが、不安が先になる。
災害対策も必要だが水道料の値下げをお願いしたい。
判っているくせに対応が遅い。何が大切かを真剣に考えれば、行わなければならない事は判るはず、アンケートの意味が不明
「計画的に」の計画が全く見えてこない。何年後までにどのくらい整備できるのでしょうか？
上記問5選択肢1～5はどれも早急になされるべき。新潟市はイベント（場あたりのなもの）を減らし、こちらの災害時対策に予算、人員をあてるべきだと思います。
大切な水道水の確保にとりくんでほしい
非常時の給水車の台数確保
現在どのくらい緊急貯水槽や給水車、仮設給水栓などがあるのか、足りているのかわからない。
水道施設の耐震化を早くした方がよいのでは。56.4%はまだまだ・・・。
現行より改善されていくだろうと思うが、そのスピードや改善率に問題がある。
老朽化した配管の事故が多い気がする
あらゆる被害、災害等の想定を固定してはいないか、過去の例ばかりでなく、昨今の人や環境の変化を研究の前方にすえて新しい視点を後回しにしない事を願う。空き家等も増加し、老朽又は無管理地区も入れてほしい
給水車だけでなく・トイレ・風呂の水も整備が必要です。
手動ポンプの（地下水利用）設置推進
具体的な整備がわからない
（総 数） 34 件

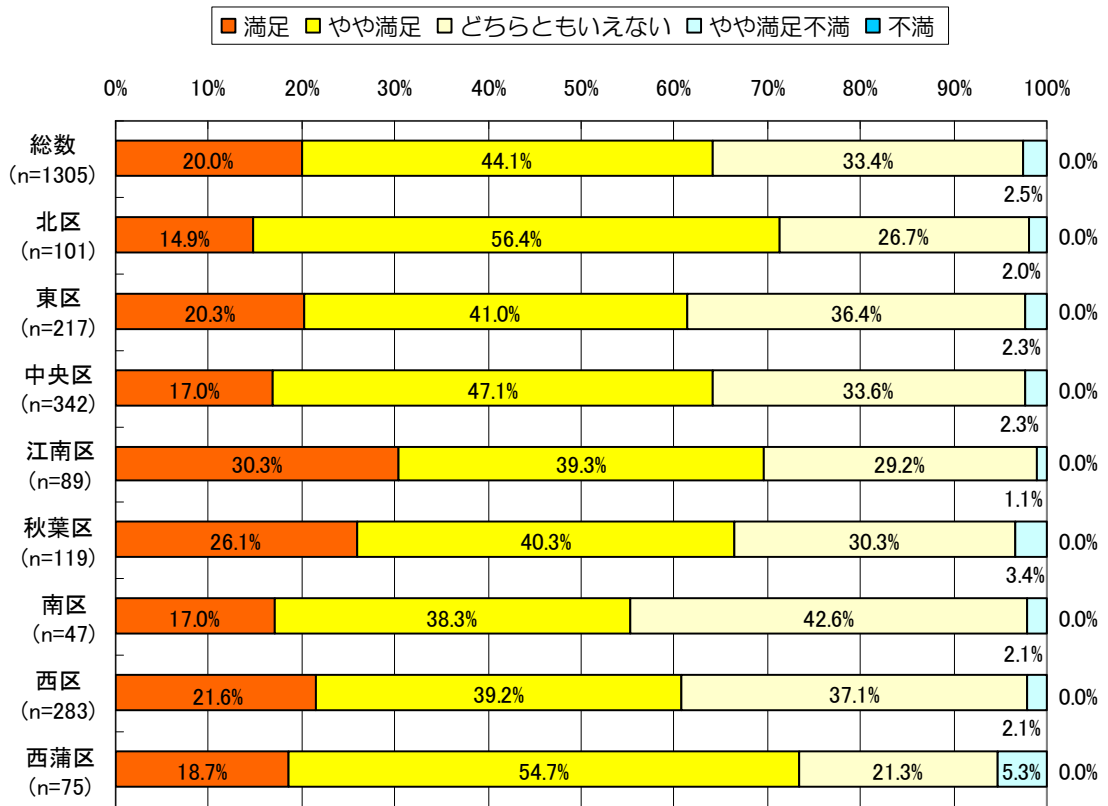


性別では、『満足』『やや満足』と答えた人の割合が、男性が65.9%、女性が62.4%で、男性のほうが3.5%高くなっている。



年齢別では、『満足』『やや満足』と答えた人の割合が、40歳代が最も低く58%となっているが、50歳代以上では年代が上がるにつれて増加し、70歳以上では70.8%となっている。

最も高いのは19歳以下で80%に達している。



居住区別にみると、西蒲区の満足度が最も高く73.4%で、以下北区の71.3%、江南区の69.6%、秋葉区の66.4%とづく。